

令和5年度第2回徳島市地域公共交通活性化協議会 議事録

日時:令和5年9月28日(木)午前10時~午前11時10分

場所:徳島市役所 本庁舎8階 庁議室

- ・欠席者 2人
- ・傍聴者 0人
- ・市政記者 3人

【会議次第】

【協議事項の議事概要】

公共交通に関するアンケート調査の実施結果について

→事務局から資料1の説明

会長:ただいま事務局から説明のありました内容につきまして、ご質問・ご意見はございませんか。

委員:前回の会議で、スクールバスの活用といったご意見もあり、大手の事業所、大学も含めてアンケートを取ってほしいということを申し上げたと記憶しております。調査項目の事業者アンケートの調査項目を見ますと、バス事業者やタクシー、関連団体、商業施設等、そして大学の調査項目もございます。5点ほど質問項目が記載されていますけれども、先ほどご説明いただいた調査結果の中に、大学に対してのアンケート結果が触れられていないように思いますがいかがでしょうか。

事務局:大学についてですが、参考資料の最後の事業者アンケートの調査項目の一覧を載せておきまして、その一番右下のほうに大学の調査項目を載せております。こちらの結果につきましては、今回お示しさせていただいたのは、アンケート結果のごく一部という形でお示しさせていただいておりますので、今後の公共交通計画の策定の中で、徐々に反映をさせていただくこととなりますので、よろしくお願いいたします。

委員:大学に関しての5点の質問がありますがけれども、この結果を踏まえて、大きく言うとどんな結果だったのかということをご概略だけでもお教えいただけませんか。

事務局:まず、大学のスクールバスの利用の程度ですが、学生さんは比較的に利用はされているようです。あとスクールバスの運行も、大学の経費の中でされているという回答がありました。運行する上での課題としまして、廃止を検討したという回答も一部

の大学でありましたが、具体的な検討までは至らなかったとの回答でした。

詳細な内容につきましては、後ほど、事務局のほうで取りまとめたものを皆様に情報共有させていただくことも可能ですので、そういった形でお示しが必要でしたら、随時させていただきたいと思っておりますが、いかがでしょうか。

委員：可能であれば、アンケートした結果の概略だけでも教えていただければありがたいかなと思います。よろしくお願いします。

会長：ありがとうございます。では、検討をお願いします。

他に、いかがでしょうか。

委員：市民アンケートで、たくさんの方が見えてきたので、すごいなと思いました。

ありがとうございました。

7ページの市民アンケートのほうの調査結果で、(外出)目的の大半が買い物ということで、これは想像がつきますが、趣味と娯楽がやはり少ないなあと思いました。都会のほうだと、趣味と娯楽に公共交通機関を使うことが多いと思うんです。だから逆に、ここをもっと使ってもらえるような何か案があればというか、策があればいいなと思いました。1つには図書館がとてもいい場所にありますけど、自転車の割引はあるんですけど、バスの割引がなくて、こういうときこそ公共交通機関を使ってほしいので、バスで往復すると、それだけで420円なんですけど、駐車料金は300円で済むんですよ、1時間だと。だったら、もう自動車で行こうかなと思ってしまうと思うんです。なので、そこをせめて車と同じぐらいの割引になるような何かがあればいいなというのは、意見としてお伝えさせていただきます。

あと、17ページの利用者アンケートのほうで「免許があり、運転に支障はない」が、まだ6割いらっしゃいますけれども、このアンケートの回答者の年齢を考えると、20%ぐらいの方が、すぐ返納の対象になるなと思ったので、ここの数字はすぐ変わってくるんじゃないかなという感じを受けました。

それから、24ページの事業者アンケートで、事業者アンケートのほうの改善点とか意見というのは、すごく利用者側に近いなと思いました。24ページの下の方の多言語対応というところがあるんですが、多言語対応も大事で、これは絶対必要なんですけれども、まず日本語をちゃんと整備してから多言語化してほしいなと思いました。

今、東京の地下鉄だったり普通の電車だったりの多言語化は、多言語を優先するあまり、日本語が見にくくなってしまっているという意見がありますので、よろしくお願いします。

これに関連して、その多言語対応の前に充実してほしいことの一つとして、何年も前からお願いしてるんですけど、バスの停留所の情報として、今、ここにどの路線が入っていて——デジタルである必要はないです。絵を描けばいいんですけど、よく海外の大きな都市のバスは、マップのカラーとそろえて、今、どの路線を走っていて、駅、バスの

停留所を五、六個書いて、そのうちの「あなた」というか「私」は、この停留所はここですという、ちょっとシンプルな絵があるだけですが。わかりやすいです。

「いまドコなん」も、すごく便利だとは思いますが、ここは検索するまでが、とても大変なんです。これがあるのは大事だと思うんですけど、その停留所に着いたときに、私は、今、どこにいるんだろうかというのが、路線と駅名で分かるんですよね、その検討を、もうずっとお願いしてしまっていて、全部の停留所は難しいでしょうが、少しずつでもお願いしたいなと思いました。以上です。ありがとうございました。

会長：ありがとうございます。幾つか、ご意見などございましたが。まず、図書館に関して何かありますでしょうか。

事務局：過去に例えば商店街を利用してもらったりとかして割引という話もありましたので、今後の検討課題にさせていただきたいと思います。このあと説明しますが、デマンド交通というのを、今度、徳島市でするんですが、そこに関して、例えば利用していただいた県有施設だったりとか、私有施設での割引対応というのも実施したいので、今後対応させていただければと考えます。

会長：言語化のお話をいただいて、それよりも日本語の情報提供も不足しているというので、特に、停留所での図化情報の提供ができないかというお話でしたが、そのあたり何か現時点でお考え、事務局のほうでありますか。

事務局：図化に関しては、今はちょっと、現状の路線バスの対応では、なかなか厳しい、難しい部分もあるかもしれません。まだ徳島バスさん、交通局さんもそうだし、現状は、駅前での路線図の配布というので、ちょっとアナログ的な対応させてもらっていますが、できる限り利用者の方の利便性がいいように考えさせていただきます。

委員：路線図のほうは、正直、義務化されているもので、今、停留所のスペースの関係で、デジタルに逃げているような状況ではあるのですが、やっぱりお年寄りとか、スマホが活用できない方とかもおられますので、今、検討はしているところです。1回作ってみたものの、市内って徳島バスの路線も交通局さんの路線もあって、かなりごちゃごちゃしてしまうので、これをどういうふうに見やすいように表現するかというところで、今、ちょっとつまづいていて、出遅れているところがあるんですが。これは主要なバス停じゃなくて、全てのバス停に貼れるようなものというので、今、検討しているところですので、もうしばらくお待ちいただけたらと思います。

会長：もう一つ、自由に使える自動車の利用者アンケートの件で確認があったんですが、このアンケート調査、私も結構「そうなんだ」という驚きがありました。ほとんど自動車を使えない方の割合が、以前もっと多かったように思ったんですが、自動車利用できるように利用があるというのが50%を超えているということで、このあたりの利用者について、免許との関係とか、ほかのどういう状況で利用されているのかというのを、もう少し見ていただくと、戦略として出てくるのかもしれないなと思いました。

ほか、いかがでしょうか。——お願いいたします。

委員：質問じゃなくて意見ですが、会長が言われたのと同じような意見なんですけども、44ページなんですけれども、事業者アンケートで、公共交通を使っているんだけども、自分で車を出しているとか、家族で、家族の自動車で移動することができるのに、公共交通を利用しているという方がおられるわけですね。ということは、なぜ、私の感覚からいうと、絶対自分で運転して行って行く人が便利で、普通そっちのほうを考えるのに、わざわざ公共交通をなぜ使ったんですかというところの理由、公共交通を使った理由を、もうちょっと本当は掘り下げて聞くと、今度その「なぜ」のところがもっと生きてくるんじゃないかと思いました。これは感想です。

会長：ありがとうございます。このあたり、ご意見もいただきましたので、できればもう少し分析いただければと思います。ほか、いかがでしょうか。特によろしいでしょうか。では、ほかにご意見などないようですので、次に進ませていただきたいと思います。続きまして「徳島市地域公共交通計画の骨子案について」事務局のほうよりご説明をお願いいたします。

徳島市地域公共交通計画の骨子案について

→事務局から資料2の説明

会長：ただいまの説明に関しまして、ご意見・ご質問などございませんでしょうか。

委員：8ページの通勤・通学における公共交通分担率なんですけれど、これも以前の会で申し上げたんですけども、学生がバスを利用するということは、すごく少ないのはなぜかなと思ったときに、9ページか11ページの地図を見ると、沖洲の市場から市民病院前、田宮街道は、学校がたくさんある通りですが、ここを抜けていくバスがないです。この通りには、たくさん学生がいて、自転車が毎朝びゅんびゅん通っています。高校の学区制が解かれたので、ありとあらゆるところから、皆さん通っていると思いますが、このバスを利用しようと思うと徳島駅に必ず寄らないといけなくて、それで仕方なく自転車で通っている、もしくは保護者が送迎をしている状況です。それは簡単なことではないというふうに以前言われたんですけど、ぜひ検討をお願いします。

すばらしい基本方針と目標ができているんですが、そこに世代を超えてという意味では、今の学生さんの支援での利用が、利用目的と、それからそれを促進するようなものが入っていないなと思いました。

どこに市民がたくさんいるのかとか、カバー率とか家の近くにはあるけれども、そこから目的地に対してがないというのが、アンケートでも一番多かったもので、じゃあ、どこに皆さん行きたいんですかというアンケートを行き先に応じたバスがないという意見がすごく多いので、じゃあ、どこに行きたいんですかというところまで出していただけ

たら、路線の再編も出せるんじゃないのかなと思いました。

会長:ありがとうございます。何か事務局、コメントありますか。

事務局:この計画なんですけど、将来的には、多分路線図の再編というのも含めてますので、多分その意見で、もう大分いただいてました。田宮街道で曲がってしまうというやつですね。まっすぐ突き抜けるんじゃなくて。実際問題考えたら、朝夕の通勤が多いのと、運転手不足というのもあるんですけど、あくまで計画に関しては再編というのも含んでいきますので、いろいろ検討課題とさせてもらって、また将来的に対応できることがあれば、考えていきたいと思います。

委員:よろしく願います。ありがとうございました。

会長:このページが開いているので、ついでに確認です。ここでの分担率というのは、通勤・通学——国勢調査なので、通勤・通学ベースですね。

事務局:そのとおりですね。

会長:だから、買い物とかの目的での分担率は、ここに含まれていなくて、居住地ベースでの話ということですね。

事務局:はい。

会長:なので、目的地がここにあるわけではないということです。

ほか、いかがでしょうか。

委員:交通局でございます。計画の骨子案も拝見させていただきまして、このあとの交通会議の中でも、デマンドの実証運行の案件が予定されております。骨子案の中に、AIデマンドバスの実証運行を徳島市も取り組んでいかれるということなんですけれども、そのデマンドバス、AIデマンド交通の内容が、骨子案の中にあまり触れられていないように思います。

デマンド交通に対する、次期計画での考え方であったり、次期計画にデマンドバス・交通の考え方を、どのように今、反映していくのかといったところをお聞きしたいと思います。

徳島バスさん、我々、交通局も、骨子案の中の後段に示されているように、公共交通の中心的役割を果たす路線バスの事業者として、しっかり路線の運行・維持を図っていききたいと思いますけれども、それを補完する意味でのAIデマンドバス・交通だとは思いますが、そのデマンド交通に対しての考え方等をお教えいただければと思います。よろしくお願いいたします。

会長:回答可能でしょうか。

事務局:資料の29ページをご覧いただきたいと思うんですが、まず目標があるんです。その目標の中に、基本的な考え方として、一番下のところですね、さまざまな交通モードを検討して、地域のニーズと市の規模にあった、持続可能な公共交通を目指すということがありまして、その中の、さまざまな交通モードという中に、デマンドとか、

地域自主運行バスとか、そういったものを含んでおるとい形で考えております。デマンド1つを殊さら取り上げるというわけではなくて、さまざまな、いろんな交通モードを総動員して考えるという考え方で計画のほうは作れるものと考えられます。

委員:さまざまな交通モードで多様な交通手段・移動手段の中の一つに、デマンド交通が1つあってという理解でよろしいでしょうか。

事務局:そのとおりです。次回の協議事項で、取り組み施策の内容として、より詳細なものをお示ししていけるかと思っておりますので、また次回に向けまして、ご協議・ご審議をお願いできたらとは思っております。

委員:ありがとうございました。

会長:ほか、いかがでしょうか。お願いします。

委員:私のほうからは、利用環境の改善というようなところで、利用者アンケートでも、利用環境の充実を求める声が上がっております。そういったことで、公共交通の徒歩圏の人口カバー率が非常に高いということで、非常によろしいですけれども、その一方で、公共交通の需要が余り上がっていないという実態があろうかと思えます。

そういった中で、基本方針を作っていただいておりますけれども、「みんなにやさしい、持続可能な公共交通の形成」という中で、いろんな環境を整えていくというようなことがうたわれておりますけれども。

1つは、やはりバス停とか駅の駐輪環境ですね。そこらあたりの改善というのは非常に大事なんじゃないかなと思ってございます。やはり、今の時代ですから、それなりに移動する人が満足感が得られるような——スペースがあつたらいいというだけではなくて、ある一定レベルの設備というのは必要なんじゃないかなと思ってございます。

徳島市内に、駅で言えば10駅あるんですけれども、今、公共駐輪場があるのは、その半分の5駅ということで、あと半分は公共駐輪場がないという実態がございます。徳島市のほうでも、自転車活用推進計画というのがあったと思うんですけれども、その場では、そういった公共交通に関わるような駐輪場の整備、当然自転車活用推進委員会ですから、自転車の活用について、1つはとめるという観点の中で、非常に駐輪施設というのは大事であるというような提言がされておりますけれども、その場合は地域公共交通計画の中で具体的な方策を作ることというふうな形で、私、認識しております。

次回からの具体的な施策のところでは、そういったものを明示していただければ、非常にありがたいなと思えます。

会長:駐輪環境について、特に何か事務局のほう、ございますでしょうか。

事務局:次回以降の協議の中で施策のほうも変えさせていただきますので、また引き続き、

ご審議のほどを、よろしくお願いたします。

では、ほかにご意見・ご質問などないようですので、事務局案のとおり、意見をいただいた点をご検討いただいて、承認いただいたとしてよろしいでしょうか。

－ 承認 －

会長：本日の協議事項につきましては、意見も出尽くしたようですので、事務局のほうに進行をお返しさせていただきます。

事務局：本日は貴重なご意見・ご協議ありがとうございました。それでは、これをもちまして本日の会議を閉会します。

以 上